

令和4年度 麻布幼稚園学校関係者評価

令和5年3月7日
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

【学校評価の方法と経緯】

保護者、学校運営協議会、教職員にアンケートを実施しました。(資料1参照)

〈各アンケート回答率〉

保護者	95% (在園児数93名に対して88名の提出)
学校運営協議会	55% (20名中11名の提出)
教職員	100% (正規教員と非常勤職員8名の提出)

アンケートの結果(資料2参照)を基に、自己評価をおこないました。自己評価を学校運営協議会委員の皆様にお示ししご意見をいただき以下のように、令和4年度 麻布幼稚園学校関係者評価としました。

【アンケート各項目についての評価】

〈幼稚園運営〉

6つの項目は、いずれのアンケートにおいても、A(あてはまる)、B(ややあてはまる)の合計が、80.0%以上であり、概ね幼稚園運営へのご理解をいただけたものと受け止めています。

○(1)についてのA(あてはまる)、B(ややあてはまる)合計は保護者98.9%、学校運営協議会100%でした。自由記述への記載はありませんでしたが、昨年度に引き続きtwitter等の発信から園の取組の様子を理解していただいているのではと受け止めています。アプリ「コドモン」の導入により、手紙の配信やアンケートの回答について利便性が高まりました。園では、各学年の取組や教育内容がより伝わるように、「コドモン」の学級保護者宛の配信機能を活用していきたいと考えています。

○(5)について、保護者のA(あてはまる)は54.5%、学校運営協議会のA(あてはまる)は63.6%でした。アンケート実施後に、小学校1年生、5年生との直接的な交流を実施することができました。感染症予防のために直接的な交流が以前のようにできないことが続きましたが、次年度以降も互惠性のある交流が実施できるようにしていきたいと考えています。

〈教育内容〉

8つの項目中7項目について、保護者の95.0%以上が、A（あてはまる）、B（ややあてはまる）と回答、学校運営協議会90.0%以上の回答でした。教育内容についてご理解いただけていると受け止めています。

- 「戸外遊び」を積極的に取り入れ、「タグラグビー教室」をきっかけとして様々な動きを経験させる、徒歩遠足を教育課程に位置付ける等を実施したことは、幼児の体を動かす楽しさにつながりました。次年度も継続していきます。
- 「親子論語の会」「親子お腹元気教室」は、保護者が一緒に参加することにより、幼稚園の取組や教育内容の理解・共有につながりました。
- 「もちつき」「節分」などの行事、「お茶会」などの体験を通して、伝統的な行事や日本の文化に親しむことができました。在籍する外国籍の幼児や保護者に、自国の言葉や文化について紹介してもらう機会がもてたことや「英語で遊ぼう」等を通して、幼児の興味・関心につなげることができました。

「親子論語の会」「お話会」「絵本や物語」などの実施は、言葉に対する感覚を豊かにすることにつながっています。次年度以降もより工夫をしながら継続をしていきます。

〈安全・安心〉

- 3つの項目について、A（あてはまる）、B（ややあてはまる）の合計が90%以上という評価でした。今年度は、小学校正門右側の幼稚園通用門と幼稚園玄関扉にオートロックを設置したことにより安全と安心が高まりました。
- 感染症への対応についても概ね理解をいただいています。保護者の行事への参加人数やマスクの着脱への意識には個人差があるため、今後の社会情勢に合わせ、丁寧に説明をしていきたいと考えています。

〈その他〉

- 保護者は積極的に行事に参加、参画してくださっています。事後のアンケートに記載された内容から、お子さんの育ちや幼稚園の取組に対しての理解が深いことを感じます。
- （19）（20）の項目について、A（あてはまる）、B（ややあてはまる）の合計が95%以上でした。幼稚園が今年度の重点として取り組んだことは、幼児の育ちにつながり保護者の理解も得られたものと評価しています。

【令和5年度に向けて】

- ・区の事業であるサポート保育の利用券の購入は、今年度より PayPay が使用できるようになりました。利用申し込み手続き等についても利便性が高まるように引き続き区に要請をしていきたいと考えています。
- ・感染症への対応については、保護者の意識には差があることを踏まえ、区の方針を丁寧に伝えるとともに丁寧に対応をしていきます。
- ・令和4年度の重点は、さらなる充実を目指しながら継続をしていきたいと考えています。
- ・麻布学校運営協議会を基盤とする地域との連携、小学校との連携・接続を継続、推進していきます。
- ・幼稚園の取組を伝える手段として、アプリ「コドモン」の学級保護者宛の配信機能を活用し、学級だよりと併用した効果的な伝え方を工夫していきます。
- ・保護者会、学級懇談会は Zoom を併用しているよさを生かしながら、開催方法や内容を吟味し内容の充実を図ります。
- ・食育と保護者の支援の両面から試験的に導入した「配達弁当(希望する保護者)」については、「配達弁当アンケート」の結果から継続の声を多くいただきました。幼児の食育と保護者の支援のバランスを保ち、継続をしていきます。
- ・港区教育委員会研究奨励園の2年目として、園内研究テーマ「自分が大好き 友達が大好き あざぶっ子 ー国際理解教育につながる取組を通してー」を推進し、幼児の育ちと教員の資質向上を目指していきます。研究発表会を、令和5年10月25日に実施します。

○幼稚園周辺の開発に伴い、学校運営協議会委員より「園歌の歌詞にある『東京タワーがみつめています』が実際の状況と異なってしまったが、園歌の歌詞が変わることはないか。」と質問がありました。東京タワーが近くにある環境は変わらず、歌い継がれてきた園歌をこれからも大切に歌っていきたいと回答いたしました。

○「自己評価」「令和5年度に向けて」について、学校運営協議会にてご承認いただき、令和4年度 麻布幼稚園学校関係者評価といたします。